



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 東野 健二

TEL 03-5437-8028

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	104,330	△6.9	7,829	11.0	7,364	△17.2	4,318	△34.1
23年3月期第1四半期	112,092	53.1	7,052	—	8,897	—	6,553	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 5,396百万円 (4.3%) 23年3月期第1四半期 5,175百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.56	—
23年3月期第1四半期	11.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	419,426	136,148	30.4	223.42
23年3月期	411,027	134,452	30.6	220.38

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 127,682百万円 23年3月期 125,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期の配当金につきましては、未定とさせていただきます。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	219,000	△0.3	12,000	△9.0	11,000	△27.7	6,600	△41.6	11.55
通期	467,000	4.6	29,000	△4.0	27,000	△20.6	17,500	△17.3	30.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	572,966,166 株	23年3月期	572,966,166 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,472,879 株	23年3月期	1,471,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	571,493,287 株	23年3月期1Q	571,505,508 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災により損壊したサプライチェーンの復旧が前倒しで進行しているものの、円高の進行や資源価格が上昇するなど先行き不透明の中で推移いたしました。

このような中、当社の売上高は、東日本大震災の影響で自動車産業に関連する製品の販売が減少したことに加え、昨年7月に伸銅事業を分離し持分法適用会社とした影響があり、当第1四半期は、前年同期比77億円(6.9%)減少の1,043億円となりました。

損益面では、減販の影響はありましたが金属価格の上昇と在庫要因による利益嵩上げ等により、営業利益は前年同期比7億円(11.0%)増加の78億円となりました。経常利益は持分法による投資利益の減少等により、前年同期比15億円(17.2%)減少の73億円となりました。

また、特別損益においては、東日本大震災に伴う操業休止期間中の固定費を特別損失に計上し、さらに税金費用及び少数株主利益を計上した結果、四半期純利益は前年同期比22億円(34.1%)減少の43億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、平成23年6月29日付の全社的な組織改編に伴い、当第1四半期より報告セグメントの区分方法を変更しております。

①機能材料

国内及びアジアでの需要回復を受けて、堅調に推移しました。当セグメントの売上高は前年同期比36億円(35.9%)増加の137億円、経常利益は12億円(71.7%)増加の30億円となりました。

②金属・資源

亜鉛など主要地金の価格は上昇し需要も総じて堅調に推移しました。当セグメントの売上高は前年同期比3億円(1.0%)増加の379億円となりましたが、持分法による投資利益の減少等で経常利益は9億円(49.2%)減少し10億円となりました。

東日本大震災で被災した八戸製錬所は、6月に復旧作業を終え定常操業いたしております。
(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

亜鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量35千t<共同製錬については当社シェア分>)
鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量12千t)

③電子材料

汎用銅箔がアジアで減販となりましたが、その他の製品は堅調に推移しました。当セグメ

ントの売上高は、金属価格の上昇もあり前年同期比 39 億円（19.7%）増加の 242 億円となりましたが、汎用銅箔の減販等の影響で経常利益は 10 億円（38.0%）減少し 16 億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

電解銅箔（当第 1 四半期連結累計期間の生産量 9 千 t）

④素材関連

各製品の需要が堅調に推移しました。当セグメントの売上高は伸銅事業を分離し持分法適用会社とした影響等で前年同期比 47 億円（12.0%）減少の 347 億円となりましたが、経常利益は 3 億円（16.9%）増加し 23 億円となりました。

⑤自動車機器

東日本大震災によるサプライチェーン停滞の影響で減販となりました。当セグメントの売上高は前年同期比 30 億円（14.3%）減少の 182 億円、経常利益は 0.8 億円（10.9%）減少の 7 億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

自動車用機能部品（当第 1 四半期連結累計期間の生産金額 158 億円）

（2）連結業績予想に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間の業績予想は、当第 1 四半期実績と非鉄金属価格等の変動要因を勘案の上見直しております。

なお、平成 24 年 3 月期通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の業績予想につきましては、現段階で第 3・第 4 四半期の事業環境を見極めることが困難なことから、見直しておりません。

		平成23年9月 第2四半期 累計期間 (予想)	平成24年 3月期 (予想)
売上高	機能材料	29,500	64,300
	金属・資源	81,000	171,500
	電子材料	46,000	93,500
	素材関連	67,000	139,000
	自動車機器	39,000	84,400
	消去又は全社	△43,500	△85,700
	合計	219,000	467,000
営業利益		12,000	29,000
経常利益	機能材料	5,300	9,000
	金属・資源	800	2,900
	電子材料	3,600	8,300
	素材関連	3,100	7,000
	自動車機器	800	4,700
	消去又は全社	△2,600	△4,900
合計		11,000	27,000
当期純利益		6,600	17,500

	4月平均	5月平均	6月平均	4～6月 平均	7～9月 見込	(参考) 前回予想 時見込
為替(円/US\$)	83	81	81	82	80	80
亜鉛LME(\$/t)	2,372	2,160	2,230	2,254	2,200	2,200
鉛LME(\$/t)	2,741	2,420	2,512	2,558	2,350	2,250

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,450	28,475
受取手形及び売掛金	81,176	75,758
商品及び製品	23,142	23,595
仕掛品	22,204	26,639
原材料及び貯蔵品	25,618	30,247
繰延税金資産	674	737
その他	9,322	9,969
貸倒引当金	△943	△981
流動資産合計	185,646	194,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	145,168	146,977
減価償却累計額	△96,207	△97,091
建物及び構築物（純額）	48,960	49,885
機械装置及び運搬具	288,132	291,244
減価償却累計額	△241,344	△242,438
機械装置及び運搬具（純額）	46,788	48,806
鉱業用地	505	473
減価償却累計額	△191	△193
鉱業用地（純額）	314	279
土地	33,436	33,446
建設仮勘定	10,629	8,151
その他	50,630	51,029
減価償却累計額	△42,968	△43,569
その他（純額）	7,661	7,460
有形固定資産合計	147,790	148,029
無形固定資産	3,519	3,510
投資その他の資産		
投資有価証券	65,086	64,903
長期貸付金	578	563
繰延税金資産	3,009	2,421
その他	5,723	5,884
貸倒引当金	△327	△326
投資その他の資産合計	74,071	73,446
固定資産合計	225,381	224,986
資産合計	411,027	419,426

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,532	40,285
短期借入金	53,398	54,527
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
未払法人税等	2,872	1,743
繰延税金負債	74	55
引当金	8,092	4,329
その他	18,533	21,286
流動負債合計	136,503	152,228
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	68,061	69,891
繰延税金負債	3,081	2,345
退職給付引当金	21,383	21,177
その他の引当金	3,314	3,046
資産除去債務	1,384	1,442
その他	2,845	3,146
固定負債合計	140,071	131,049
負債合計	276,575	283,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	76,640	77,530
自己株式	△510	△510
株主資本合計	140,817	141,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	1,129
繰延ヘッジ損益	△827	11
為替換算調整勘定	△15,340	△15,165
その他の包括利益累計額合計	△14,870	△14,024
少数株主持分	8,505	8,465
純資産合計	134,452	136,148
負債純資産合計	411,027	419,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	112,092	104,330
売上原価	94,984	86,762
売上総利益	17,107	17,568
販売費及び一般管理費	10,055	9,738
営業利益	7,052	7,829
営業外収益		
受取利息	33	35
受取配当金	694	361
持分法による投資利益	2,099	84
不動産賃貸料	176	213
その他	44	101
営業外収益合計	3,049	797
営業外費用		
支払利息	743	721
その他	461	540
営業外費用合計	1,204	1,262
経常利益	8,897	7,364
特別利益		
固定資産売却益	19	30
その他	71	21
特別利益合計	91	52
特別損失		
固定資産除却損	155	387
災害による損失	1	1,188
その他	823	240
特別損失合計	980	1,817
税金等調整前四半期純利益	8,008	5,600
法人税、住民税及び事業税	997	1,212
法人税等調整額	166	△86
法人税等合計	1,164	1,126
少数株主損益調整前四半期純利益	6,843	4,473
少数株主利益	290	155
四半期純利益	6,553	4,318

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,843	4,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△787	△162
繰延ヘッジ損益	△439	161
為替換算調整勘定	△614	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	172	943
その他の包括利益合計	△1,668	922
四半期包括利益	5,175	5,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,773	5,164
少数株主に係る四半期包括利益	401	232

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	銅箔	機能 材料	金属 ・環境	自動車 機器	関連	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	14,692	17,788	27,317	21,252	23,093	104,143	7,024	111,167	924	112,092
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	378	1,601	11,846	36	2,041	15,904	1,907	17,812	△17,812	—
計	15,070	19,389	39,163	21,288	25,134	120,048	8,931	128,979	△16,887	112,092
セグメント利益 又は損失 (△)	2,474	2,751	2,123	805	1,353	9,508	△187	9,321	△424	8,897

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体実装材料事業、エンジニアリング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△145百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,052百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)	
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	12,908	23,168	22,870	28,015	18,193	105,156	△826	104,330	
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	833	14,815	1,329	6,733	43	23,755	△23,755	—	
計	13,741	37,983	24,200	34,748	18,237	128,911	△24,581	104,330	
セグメント利益	3,042	1,006	1,676	2,343	718	8,787	△1,422	7,364	

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△836百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成23年6月29日付の全社的な組織改編に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の銅箔、機能材料、金属・環境、関連セグメント及び「その他」から、機能材料、金属・資源、電子材料及び素材関連セグメントに報告セグメントの区分方法を変更しております。

変更後の各セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

セグメント	主要製品等
機能材料	電池材料（水素吸蔵合金、マンガン酸リチウム、電池用亜鉛粉）、 自動車排ガス用触媒、機能粉（マグネタイト）、 レアメタル化合物（セリウム系研磨材、酸化タンタル、酸化ニオブ）、希土類、単結晶
金属・資源	亜鉛、銅、鉛、金、銀、硫酸、亜鉛合金、酸化亜鉛、リサーチ、 産業廃棄物処理、土壌調査、地熱蒸気
電子材料	電解銅箔、金属粉
素材関連	薄膜材料（スパッタリングターゲット）、 パーライト（建築材、湿式濾過助剤、断熱材、乾式濾過助剤、土壌改良材）、人工軽量骨材、 セラミックス製品（アルミ溶湯濾過装置、アルミナ系・SiC系セラミックス）、研削砥石、 亜鉛・アルミ・マグネダイカスト製品、粉末冶金製品、 非破壊型検査装置、半導体実装材料（TABテープ・COFテープ）、情報処理システム、 各種産業プラント・環境機器・自動化機器等のエンジニアリング、 建築・土木等の建設工事の設計・施工、 ポリエチレン複合パイプ、非鉄金属・電子材料等の販売、 伸銅品（銅板、銅条、黄銅板、黄銅条）、 亜鉛板（印刷用亜鉛板、防食用亜鉛板、建材用亜鉛板）
自動車機器	自動車用機能部品

前第1四半期連結累計期間について変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	9,744	25,763	19,627	34,814	21,252	111,202	890	112,092
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	364	11,841	588	4,677	36	17,508	△17,508	—
計	10,108	37,604	20,215	39,492	21,288	128,710	△16,618	112,092
セグメント利益	1,772	1,981	2,706	2,004	805	9,270	△373	8,897

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。